

令和5年7月10日 15時～
青森県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 資料

青森県の感染状況等について

健康福祉部保健衛生課
新型コロナウイルス感染症担当

1 定点医療機関における全体及び圏域別新規患者数の週別推移

(令和5年第1週 (1月2日~8日) ~第26週 (6月26日~7月2日))

(単位:人)

報告週	青森県計			東青 (東地方、青森市保健所)			中南 (弘前保健所)			三八 (三戸地方・八戸市保健所)			西北 (五所川原保健所)			上北 (上十三保健所)			下北 (むつ保健所)		
	県全体	県全体	県全体	東青	東青	東青	中南	中南	中南	三八	三八	三八	西北	西北	西北	上北	上北	上北	下北	下北	下北
	患者数	定点当たり患者数	前週比	患者数	定点当たり患者数	前週比	患者数	定点当たり患者数	前週比	患者数	定点当たり患者数	前週比	患者数	定点当たり患者数	前週比	患者数	定点当たり患者数	前週比	患者数	定点当たり患者数	前週比
第1週 (1/2 - 1/8)	1,126	18.77	-	194	16.17	-	231	17.77	-	297	22.85	-	126	18.00	-	202	22.44	-	76	12.67	-
第2週 (1/9 - 1/15)	727	12.12	(0.65)	117	9.75	(0.60)	195	15.00	(0.84)	140	10.77	(0.47)	95	13.57	(0.75)	130	14.44	(0.64)	50	8.33	(0.66)
第3週 (1/16 - 1/22)	475	7.92	(0.65)	86	7.17	(0.74)	111	8.54	(0.57)	117	9.00	(0.84)	53	7.57	(0.56)	80	8.89	(0.62)	28	4.67	(0.56)
第4週 (1/23 - 1/29)	326	5.43	(0.69)	58	4.83	(0.67)	47	3.62	(0.42)	113	8.69	(0.97)	35	5.00	(0.66)	62	6.89	(0.78)	11	1.83	(0.39)
第5週 (1/30 - 2/5)	221	3.68	(0.68)	46	3.83	(0.79)	54	4.15	(1.15)	59	4.54	(0.52)	19	2.71	(0.54)	35	3.89	(0.56)	8	1.33	(0.73)
第6週 (2/6 - 2/12)	131	2.18	(0.59)	30	2.50	(0.65)	29	2.23	(0.54)	39	3.00	(0.66)	11	1.57	(0.58)	18	2.00	(0.51)	4	0.67	(0.50)
第7週 (2/13 - 2/19)	131	2.18	(1.00)	30	2.50	(1.00)	30	2.31	(1.03)	52	4.00	(1.33)	11	1.57	(1.00)	4	0.44	(0.22)	4	0.67	(1.00)
第8週 (2/20 - 2/26)	86	1.43	(0.66)	26	2.17	(0.87)	14	1.08	(0.47)	29	2.23	(0.56)	5	0.71	(0.45)	8	0.89	(2.00)	4	0.67	(1.00)
第9週 (2/27 - 3/5)	97	1.62	(1.13)	30	2.50	(1.15)	7	0.54	(0.50)	36	2.77	(1.24)	19	2.71	(3.80)	3	0.33	(0.38)	2	0.33	(0.50)
第10週 (3/6 - 3/12)	99	1.65	(1.02)	20	1.67	(0.67)	35	2.69	(5.00)	29	2.23	(0.81)	8	1.14	(0.42)	7	0.78	(2.33)	0	0.00	(皆滅)
第11週 (3/13 - 3/19)	76	1.27	(0.77)	13	1.08	(0.65)	40	3.08	(1.14)	11	0.85	(0.38)	4	0.57	(0.50)	3	0.33	(0.43)	5	0.83	(皆増)
第12週 (3/20 - 3/26)	73	1.22	(0.96)	23	1.92	(1.77)	27	2.08	(0.68)	11	0.85	(1.00)	8	1.14	(2.00)	4	0.44	(1.33)	0	0.00	(皆滅)
第13週 (3/27 - 4/2)	102	1.70	(1.40)	21	1.75	(0.91)	36	2.77	(1.33)	16	1.23	(1.45)	13	1.86	(1.63)	15	1.67	(3.75)	1	0.17	(皆増)
第14週 (4/3 - 4/9)	80	1.33	(0.78)	14	1.17	(0.67)	27	2.08	(0.75)	12	0.92	(0.75)	14	2.00	(1.08)	8	0.89	(0.53)	5	0.83	(5.00)
第15週 (4/10 - 4/16)	109	1.82	(1.36)	21	1.75	(1.50)	18	1.38	(0.67)	19	1.46	(1.58)	18	2.57	(1.29)	17	1.89	(2.13)	16	2.67	(3.20)
第16週 (4/17 - 4/23)	117	1.95	(1.07)	31	2.58	(1.48)	29	2.23	(1.61)	23	1.77	(1.21)	10	1.43	(0.56)	12	1.33	(0.71)	12	2.00	(0.75)
第17週 (4/24 - 4/30)	162	2.70	(1.38)	34	2.83	(1.10)	42	3.23	(1.45)	20	1.54	(0.87)	17	2.43	(1.70)	19	2.11	(1.58)	30	5.00	(2.50)
第18週 (5/1 - 5/7)	148	2.47	(0.91)	22	1.83	(0.65)	29	2.23	(0.69)	28	2.15	(1.40)	25	3.57	(1.47)	29	3.22	(1.53)	15	2.50	(0.50)
第19週 (5/8 - 5/14)	196	3.27	(1.32)	35	2.92	(1.59)	45	3.46	(1.55)	43	3.31	(1.54)	15	2.14	(0.60)	23	2.56	(0.79)	35	5.83	(2.33)
第20週 (5/15 - 5/21)	165	2.75	(0.84)	30	2.50	(0.86)	48	3.69	(1.07)	18	1.38	(0.42)	21	3.00	(1.40)	14	1.56	(0.61)	34	5.67	(0.97)
第21週 (5/22 - 5/28)	184	3.07	(1.12)	27	2.25	(0.90)	43	3.31	(0.90)	27	2.08	(1.50)	27	3.86	(1.29)	21	2.33	(1.50)	39	6.50	(1.15)
第22週 (5/29 - 6/4)	206	3.43	(1.12)	15	1.25	(0.56)	49	3.77	(1.14)	39	3.00	(1.44)	19	2.71	(0.70)	31	3.44	(1.48)	53	8.83	(1.36)
第23週 (6/5 - 6/11)	208	3.47	(1.01)	17	1.42	(1.13)	73	5.62	(1.49)	51	3.92	(1.31)	15	2.14	(0.79)	26	2.89	(0.84)	26	4.33	(0.49)
第24週 (6/12 - 6/18)	191	3.18	(0.92)	30	2.50	(1.76)	47	3.62	(0.64)	48	3.69	(0.94)	17	2.43	(1.13)	24	2.67	(0.92)	25	4.17	(0.96)
第25週 (6/19 - 6/25)	253	4.22	(1.32)	44	3.67	(1.47)	50	3.85	(1.06)	73	5.62	(1.52)	22	3.14	(1.29)	46	5.11	(1.92)	18	3.00	(0.72)
第26週 (6/26 - 7/2)	269	4.48	(1.06)	53	4.42	(1.20)	39	3.00	(0.78)	85	6.54	(1.16)	25	3.57	(1.14)	36	4.00	(0.78)	31	5.17	(1.72)

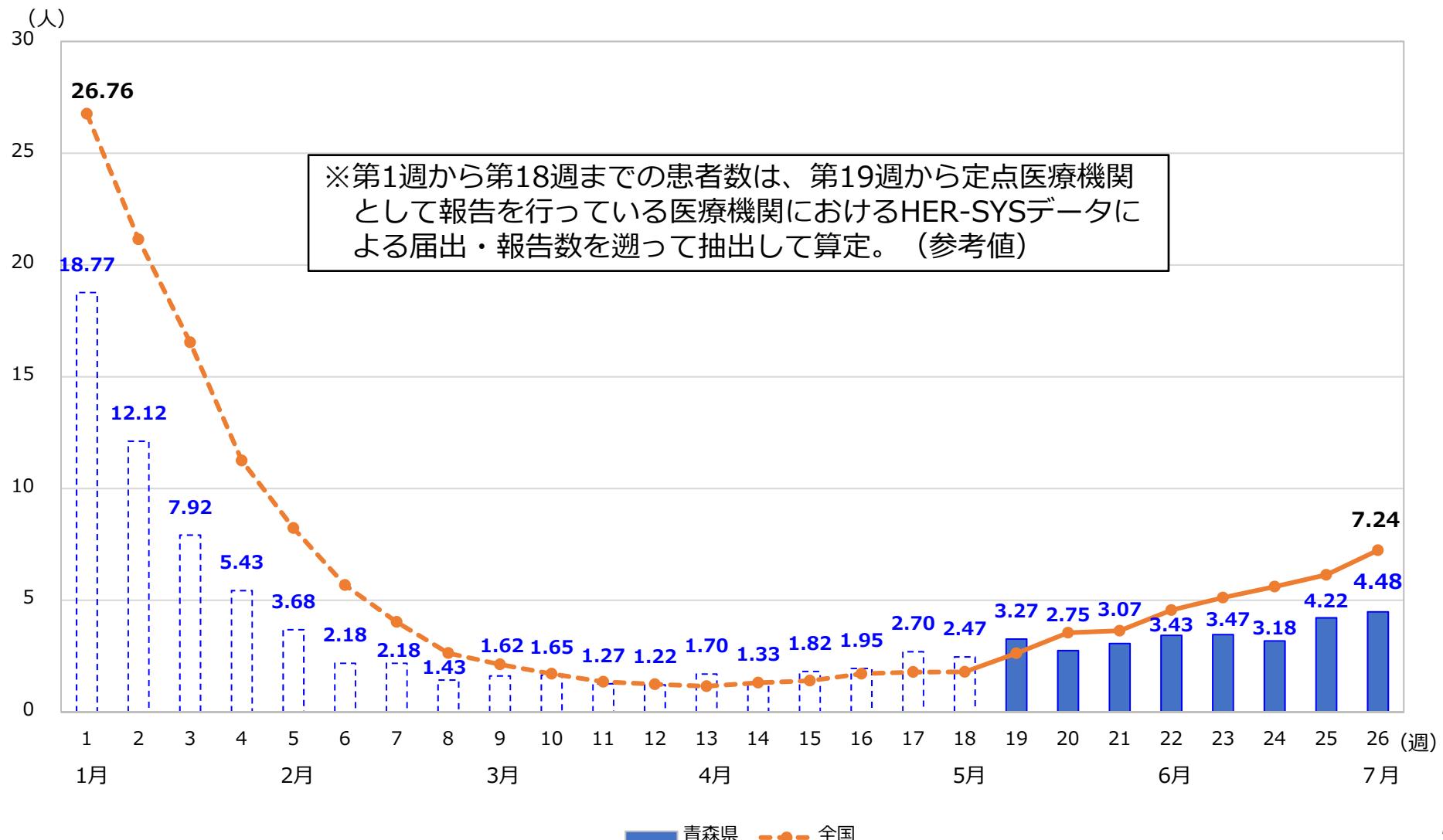
※第18週までの患者数は、第19週から定点医療機関として報告を行っている医療機関におけるHER-SYSデータによる届出・報告数を遡って抽出して算定した参考値。

2 定点医療機関当たり新規患者数の週別推移

(令和5年第1週 (1月2日～8日)～第26週 (6月26日～7月2日))

第14週以降、緩やかに増加しており、第19週（5類移行後）以降同様に増加している。

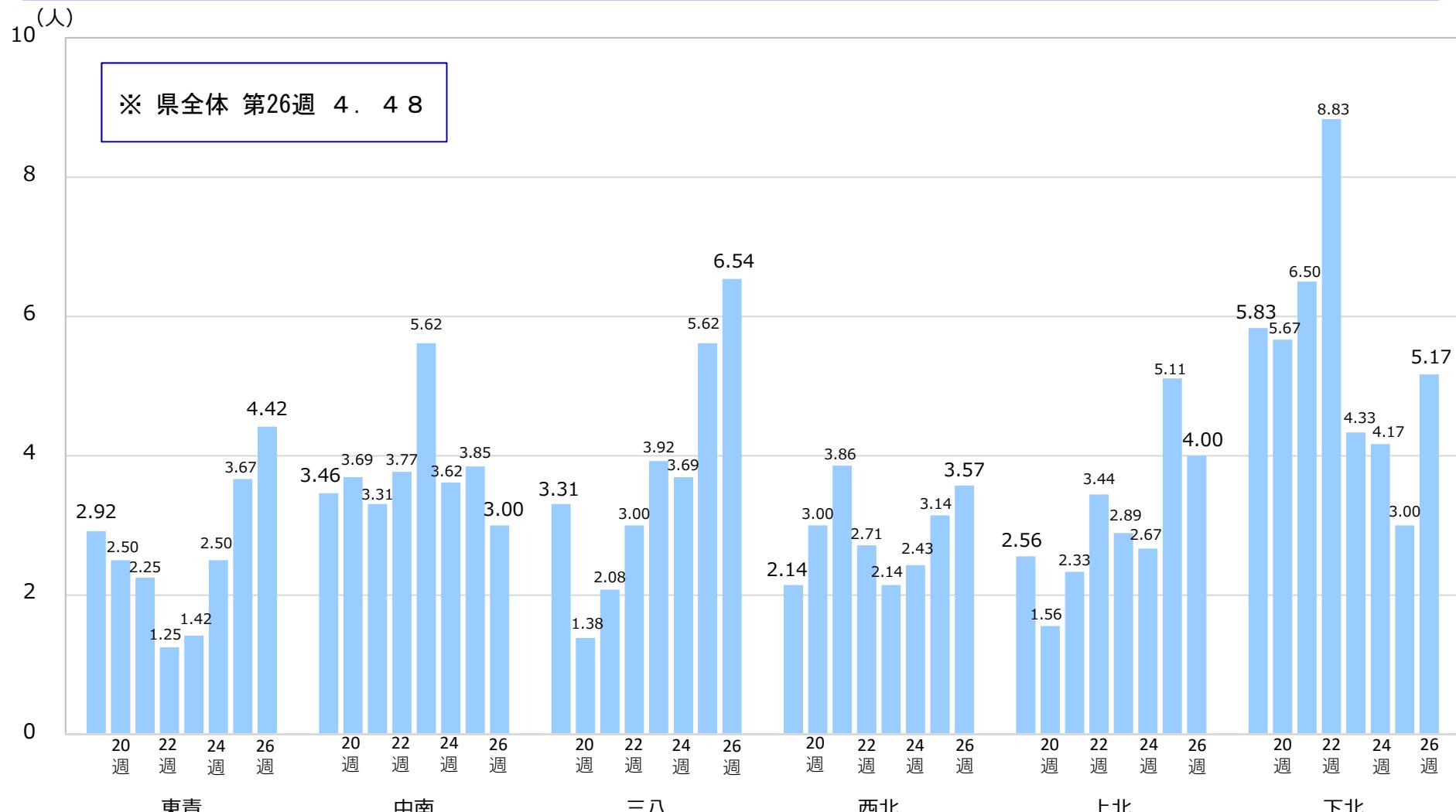
（第14週（4月3日～9日）：定点当たり 1.33 ⇒ 第26週：定点当たり 4.48（3.37倍））



3 定点医療機関当たり圏域別新規患者数の週別推移（5類移行後）

（令和5年第19週（5月8日～14日）～第26週（6月26日～7月2日））

県全体の状況と比較して、圏域別で大きな違いは見られないが、引き続き注視が必要。



4 定点医療機関における年齢別新規患者数の週別推移 (5類移行後)

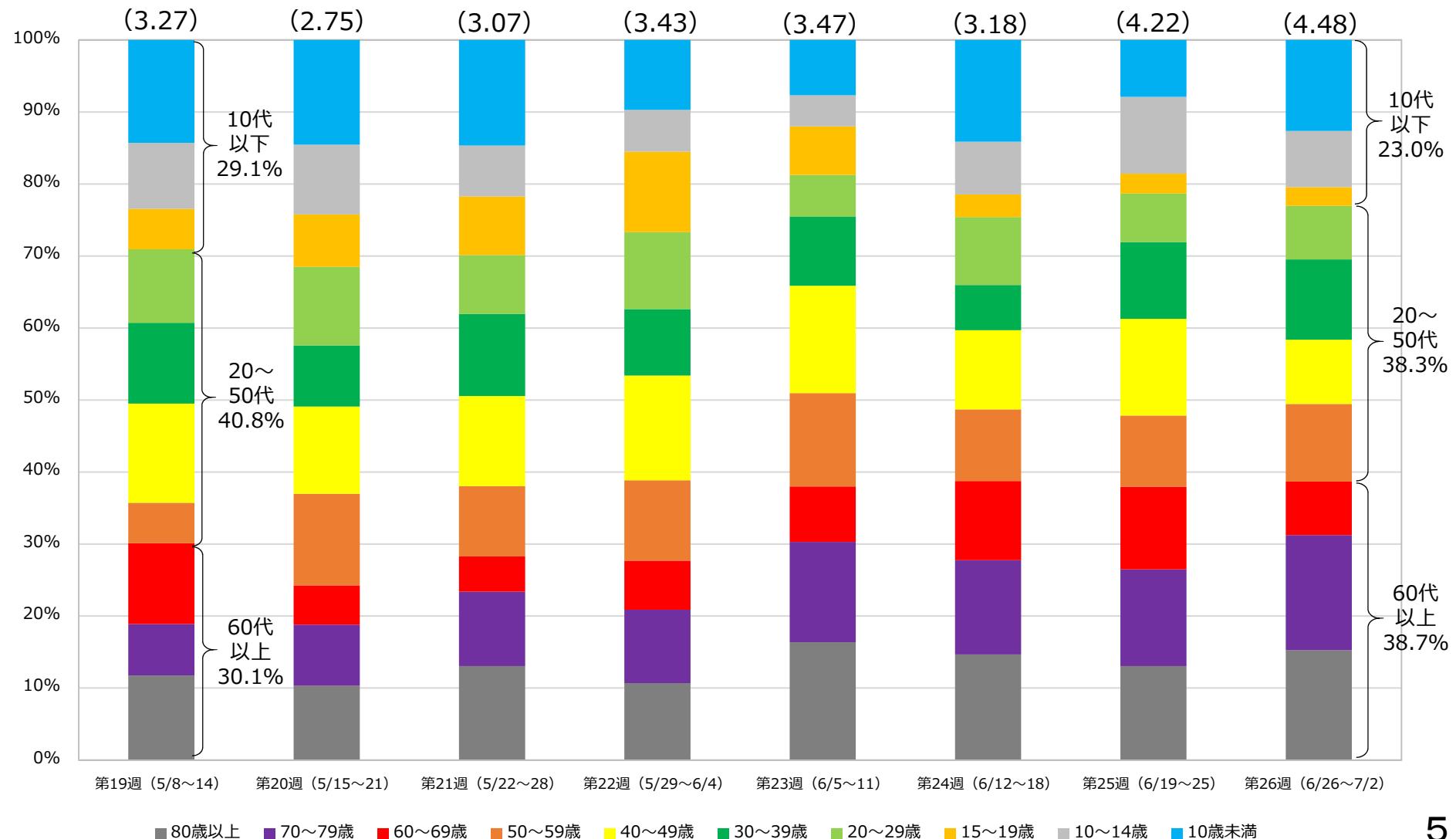
(令和5年第19週 (5月8日～14日)～第26週 (6月26日～7月2日))

(単位:人)

年齢区分	第19週		第20週		第21週		第22週		第23週		第24週		第25週		第26週	
	患者数	定点当たり患者数														
10歳未満	28	0.47	24	0.4	27	0.45	20	0.33	16	0.27	27	0.45	20	0.33	34	0.57
10～14歳	18	0.3	16	0.27	13	0.22	12	0.20	9	0.15	14	0.23	27	0.45	21	0.35
15～19歳	11	0.18	12	0.2	15	0.25	23	0.38	14	0.23	6	0.10	7	0.12	7	0.12
20～29歳	20	0.34	18	0.3	15	0.25	22	0.37	12	0.20	18	0.30	17	0.28	20	0.33
30～39歳	22	0.37	14	0.23	21	0.35	19	0.32	20	0.33	12	0.20	27	0.45	30	0.50
40～49歳	27	0.45	20	0.34	23	0.38	30	0.50	31	0.52	21	0.35	34	0.57	24	0.40
50～59歳	11	0.18	21	0.35	18	0.30	23	0.38	27	0.45	19	0.32	25	0.42	29	0.48
60～69歳	22	0.37	9	0.15	9	0.15	14	0.23	16	0.27	21	0.35	29	0.48	20	0.33
70～79歳	14	0.23	14	0.23	19	0.32	21	0.35	29	0.48	25	0.42	34	0.57	43	0.72
80歳以上	23	0.38	17	0.28	24	0.40	22	0.37	34	0.57	28	0.46	33	0.55	41	0.68
全年齢	196	3.27	165	2.75	184	3.07	206	3.43	208	3.47	191	3.18	253	4.22	269	4.48

5 定点医療機関当たり新規患者数の年齢階級割合の週別推移 (5類移行後) (令和5年第19週(5月8日~14日)~第26週(6月26日~7月2日))

各年代で新規患者が確認されており、それらの割合に大きな変化は見られない。



6 全国の定点医療機関当たり新規患者数の状況

(令和5年第22週(5月29日～6月4日)～第26週(6月26日～7月2日))

＜厚生労働省資料＞

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)定点当たり報告患者数推移

区分	第22週 5/29-6/4	第23週 6/5-6/11	第24週 6/12-6/18	第25週 6/19-6/25	第26週 6/26-7/2
北海道	6.71	6.47	5.71	5.23	6.03
青森県	3.43	3.47	3.18	4.22	4.48
岩手県	6.44	4.87	4.75	5.59	6.27
宮城县	5.31	5.10	4.89	4.67	6.05
秋田県	3.65	2.62	2.81	3.10	3.35
山形県	4.95	4.26	4.14	3.72	3.98
福島県	3.21	3.96	3.76	5.10	6.21
茨城県	5.01	4.97	5.89	6.48	7.52
栃木県	3.55	3.50	3.42	3.96	5.43
群馬県	3.07	3.68	3.77	3.85	4.45
埼玉県	5.77	6.51	7.02	7.18	7.25
千葉県	6.66	6.46	7.57	7.77	9.89
東京都	5.29	5.99	5.85	6.22	6.85
神奈川県	4.38	5.03	5.91	6.07	6.30
新潟県	4.80	5.49	4.82	4.14	4.98
富山县	3.35	4.21	4.90	4.02	3.71
石川県	6.98	6.58	6.29	5.85	6.94
福井県	3.10	3.95	3.85	3.72	4.23
山梨県	6.10	5.68	6.44	6.61	8.05
長野県	4.98	4.64	4.13	4.75	5.91
岐阜県	5.30	5.49	5.84	7.45	8.46
静岡県	3.60	3.77	5.56	5.81	6.58
愛知県	5.35	6.28	7.22	8.03	9.16
三重県	4.51	5.65	6.24	6.32	7.25
滋賀県	2.47	3.12	3.78	4.30	5.49
京都府	3.51	4.13	4.67	4.92	6.02
大阪府	3.33	4.33	4.55	5.16	5.93
兵庫県	2.89	3.28	3.76	4.82	5.78
奈良県	4.51	4.64	5.40	5.58	7.89
和歌山县	2.78	3.73	4.45	5.18	7.33
鳥取県	4.24	4.28	4.62	4.76	6.38
島根県	2.29	2.76	2.95	3.42	4.08
岡山県	2.67	3.01	3.45	3.68	5.12
広島県	3.07	3.92	4.36	4.71	6.88
山口県	3.28	4.40	3.93	4.55	5.88
徳島県	3.22	4.43	3.76	4.57	5.46
香川県	2.81	3.70	3.47	4.47	6.81
愛媛県	2.95	3.72	3.89	4.13	6.11
高知県	2.45	3.48	3.73	5.09	5.43
福岡県	4.25	5.76	5.92	5.76	7.21
佐賀県	4.74	5.49	6.28	7.00	9.44
長崎県	4.19	4.46	5.14	5.29	6.93
熊本県	3.54	5.43	6.38	8.75	9.58
大分県	2.97	3.40	4.00	4.14	6.28
宮崎県	3.02	4.14	5.88	7.22	9.66
鹿児島県	5.36	7.37	9.60	11.71	13.48
沖縄県	15.80	18.41	28.74	39.48	48.39
総数	4.55	5.11	5.60	6.13	7.24

- 一部の県で感染拡大が確認されている。
- 青森県の年代別の患者数の割合は、全国と比較し、60代以上が高く、それ以外の年代で低い。

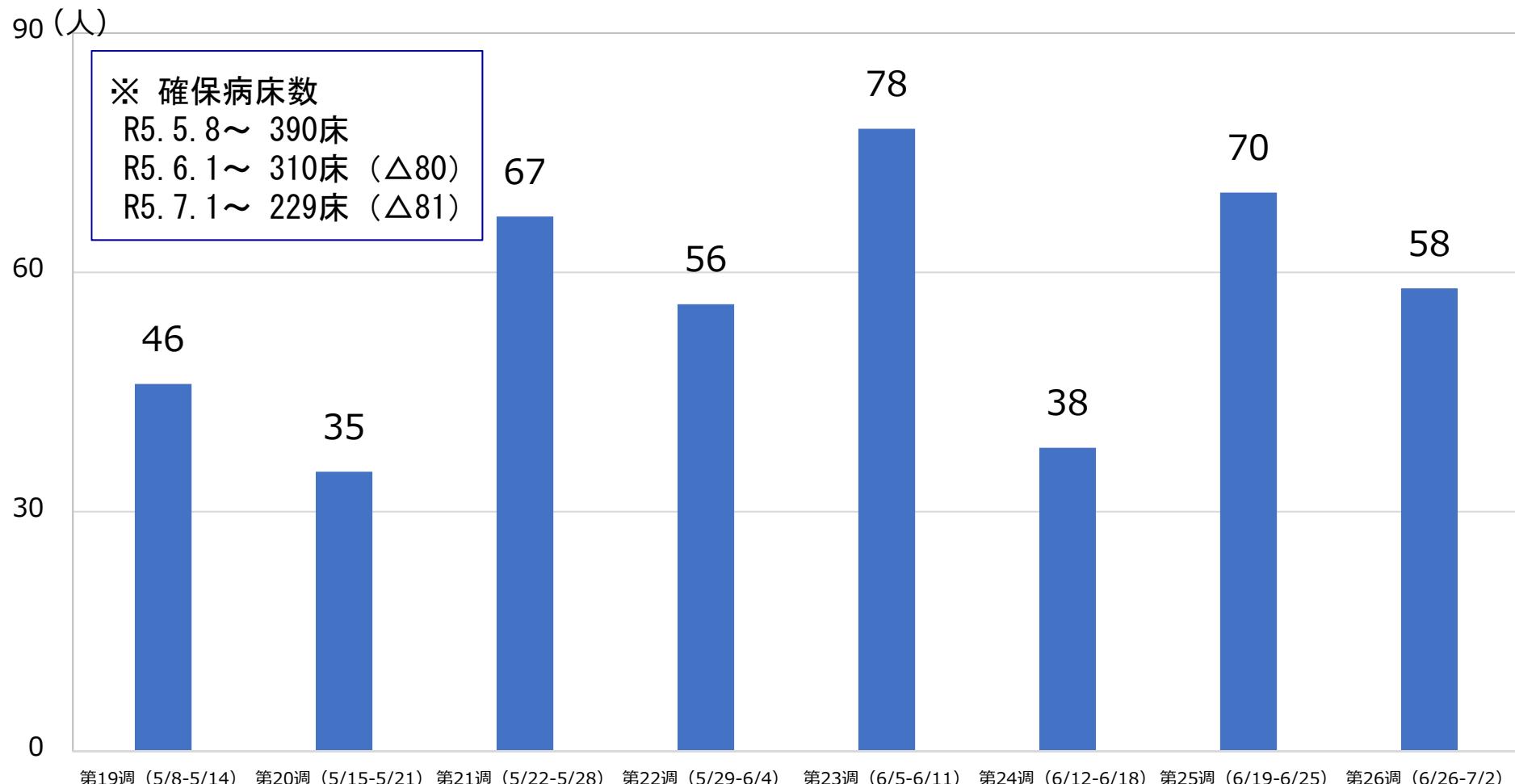
全国の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)定点当たり報告患者数・年代別推移

区分	第22週 5/29-6/4	第23週 6/5-6/11	第24週 6/12-6/18	第25週 6/19-6/25	第26週 6/26-7/2	第26週の年代別割合			
	10歳未満	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳
10歳未満	0.63	0.74	0.79	0.86	1.08	34.4%	10代以下		
10～14歳	0.49	0.59	0.68	0.69	0.81	45.7%	20～50代		
15～19歳	0.37	0.50	0.52	0.56	0.60				
20～29歳	0.51	0.55	0.60	0.71	0.83				
30～39歳	0.44	0.50	0.55	0.65	0.76				
40～49歳	0.57	0.61	0.66	0.74	0.85				
50～59歳	0.54	0.59	0.68	0.72	0.87				
60～69歳	0.34	0.38	0.43	0.47	0.56				
70～79歳	0.34	0.35	0.37	0.39	0.47				
80歳以上	0.32	0.30	0.33	0.34	0.41				
総数	4.55	5.11	5.60	6.13	7.24				

7 新規入院患者数の週別推移（5類移行後）

（令和5年第19週（5月8日～14日）～第26週（6月26日～7月2日））

院内感染の発生により、コロナ以外で入院中だった方の新規入院数が増加した週も見られるが、確保病床及び確保病床以外でも、入院が必要な患者は速やかに入院できており、適切に医療を提供できる体制を維持している。

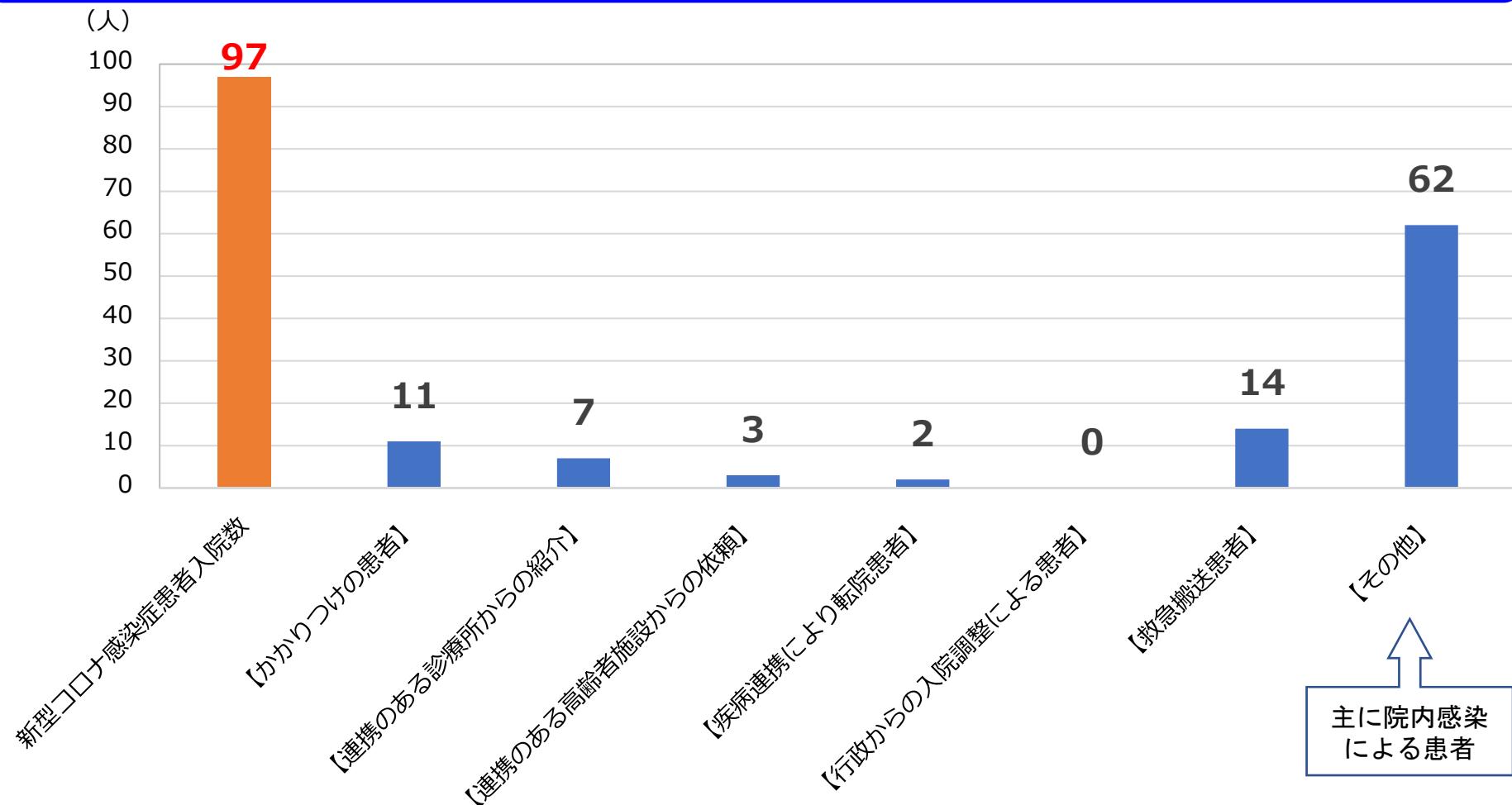


※新規入院患者数はG-MISに入力されているデータに基づき集計。

8 入院中の患者の入院ルート（R5.7.2現在）

＜青森県独自調査＞

- 院内感染の発生により、コロナ以外で入院中だった方がコロナ入院となるケースが多い。
- 行政が入院調整を行ったケースはなく、各医療機関間で自律的な入院調整が行われている。
- 救急搬送により入院するケースは一定数あるが、医療提供上の問題は生じていない。

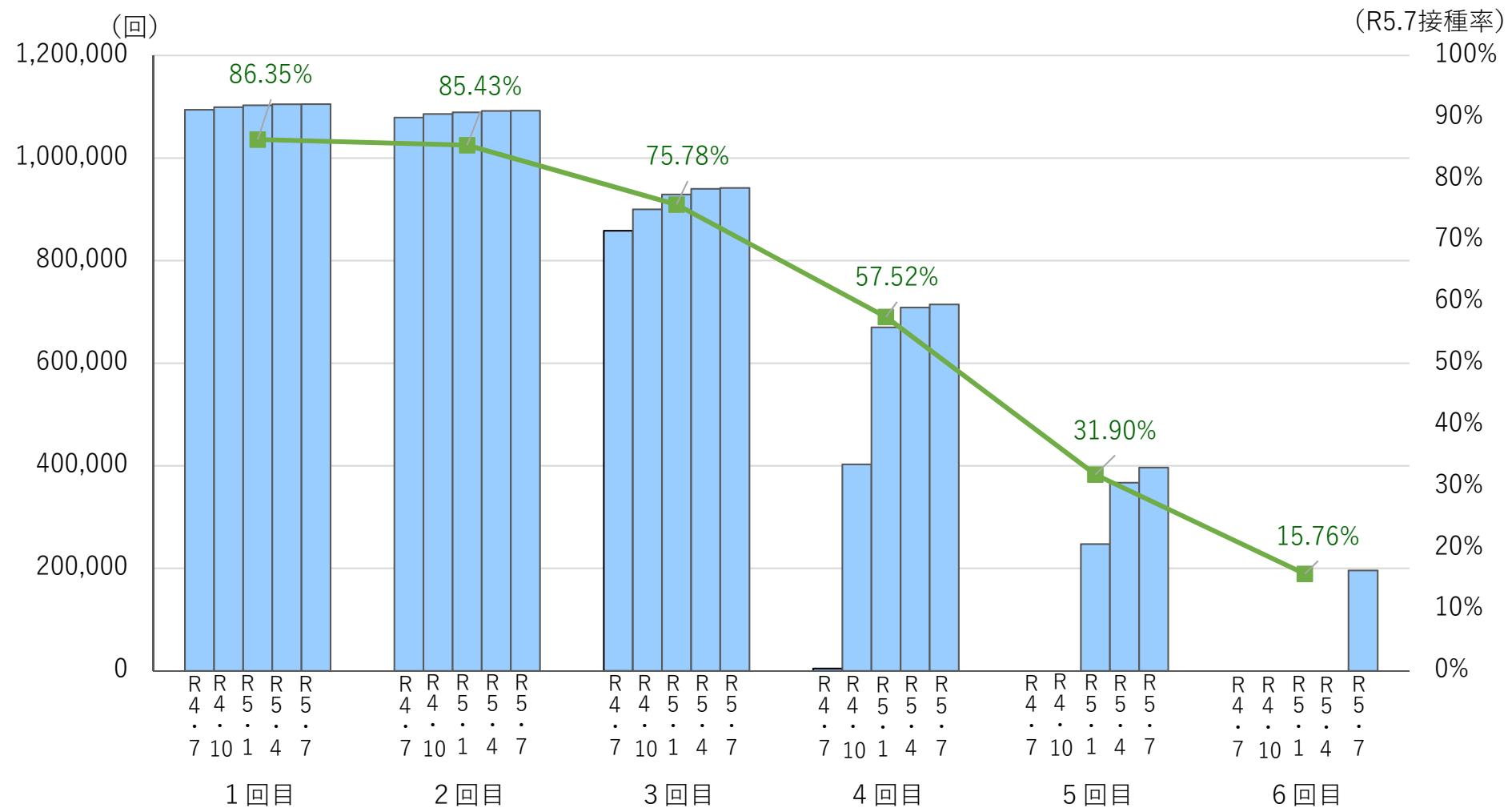


※入院患者数はG-MISに入力されているデータに基づき集計。

※入院ルート数は複数回答可能なため、必ずしも入院患者数と一致しない。

9 新型コロナワクチン総接種回数の推移と直近の接種率 (R5. 7. 4現在)

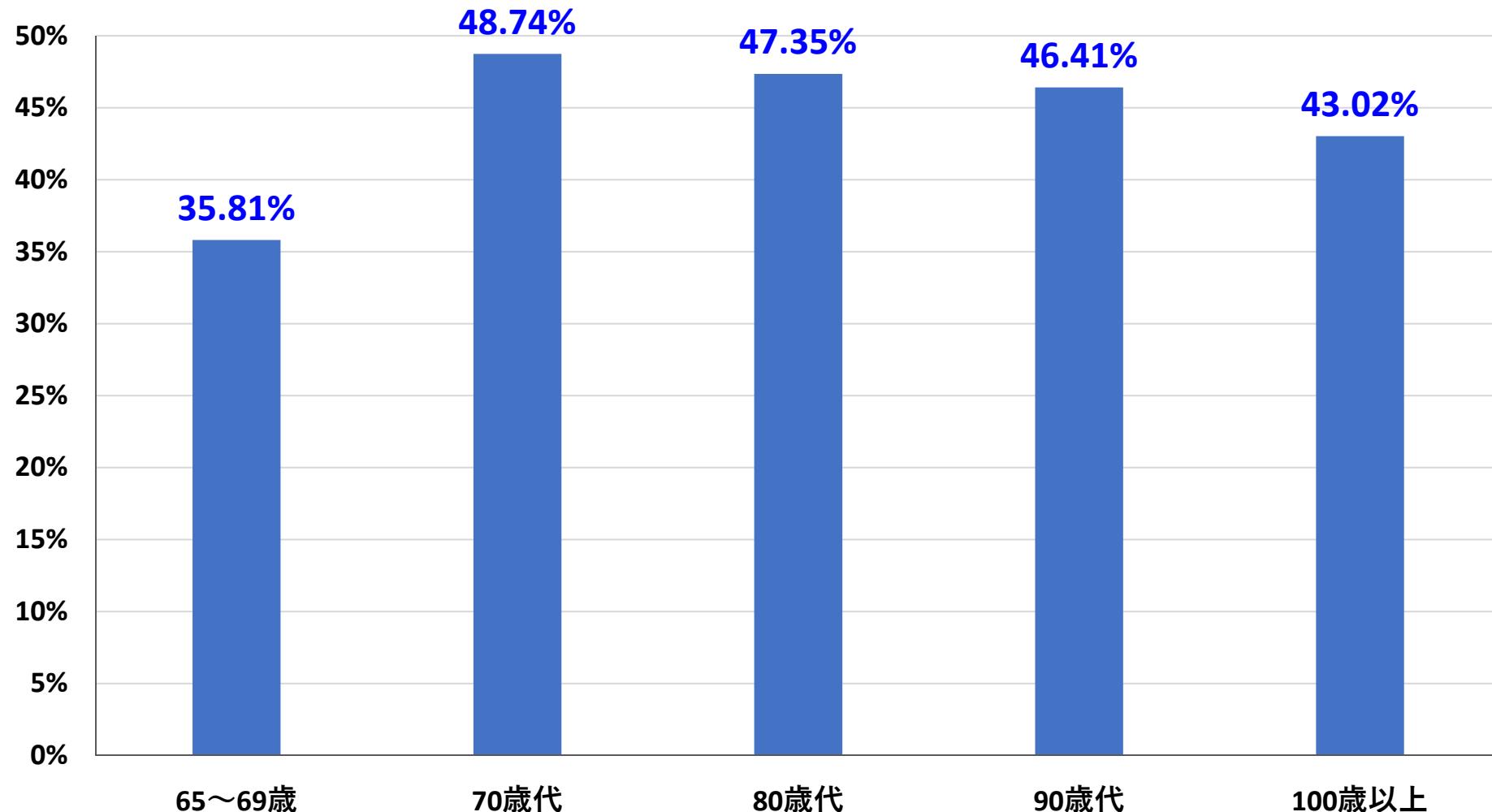
- 4回目接種は、この1年間で接種率が大幅に伸びている。
- 5回目・6回目接種は対象者が高齢者等に限定されており、計算上、接種率が低く見える。
(高齢者の接種状況は次ページのスライドのとおり。)



※ 首相官邸ホームページ「新型コロナワクチンについて」都道府県別の実績より抜粋。

10 令和5年5月8日（春開始接種）以降の接種率の状況 (3回目以上、65歳以上) (R 5. 7. 4公表時点)

接種開始から約2か月を経過し、各年代いずれも、接種対象者の3分の1以上の方が接種を終了しているが、更なる接種を推奨していくことが必要。



※ 首相官邸ホームページ「新型コロナワクチンについて」都道府県別の実績より抜粋。

11 令和5年度の新型コロナワクチン接種の全体像

＜厚生労働省資料＞



12 新型コロナウイルスの抗体保有状況（R5.5調査）<厚生労働省資料>

6月22日 自民党 新型コロナウイルス等感染症対策本部
厚生労働省提出資料（参考資料1）

第122回（令和5年6月16日）
新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード
事務局提出資料

資料2-2

第3回献血時の検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有割合実態調査 (結果速報、概要)

- 令和4年度は、夏の感染拡大（いわゆる第7波）、秋の感染拡大（いわゆる第8波）等を踏まえ、計2回（令和4年11月及び令和5年2月）実施した。献血時の検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有割合実態調査において、日本全体の結果は、第1回が28.6%（※1）、第2回が42.0%（※1）であった。
- 国民の抗体保有割合は、今後の感染動向の予測や対策等を検討する際に極めて有用なデータであり、新型コロナウイルス感染症にかかる感染症法上の位置づけ変更後における重層的な流行状況の把握を目的とした、直近の抗体保有状況について、日本赤十字社の協力のもと、第3回目の当該調査を実施した。
- この結果、令和5年5月時点の日本全体の抗体保有割合は、42.8%（速報値）であった。

第3回献血時の検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有割合実態調査	
調査の目的	新型コロナウイルス感染症にかかる感染症法上の位置づけ変更後における重層的な流行状況の把握
実施主体	厚生労働省（日本赤十字社による協力のもと実施）
調査時期	令和5年5月17日～31日
対象者	調査期間中に日本赤十字社の献血ルーム等を訪れた献血者（※2）18,048名（各都道府県384名）
対象地域	全都道府県
測定項目	抗N抗体
統計分析	日本全体及び都道府県別の抗体保有割合と95%信頼区間（CI）（※3）の推定（バイアスの補正なし）
測定結果 (速報値)	全体：42.8% (95%CI: 42.0 - 43.5%)（※4） (都道府県別等については別紙)

（※1）都道府県、性別、年齢階級にてウェイトバックした値

（※2）全血献血又は成分献血の基準を満たし、以下のいずれにも該当しない者を対象とする。

- ・新型コロナウイルス感染症と診断された又は新型コロナウイルス検査で陽性になったことがあり、症状消失後（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）4週間以内の方
- ・発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症が疑われる症状や、味覚・嗅覚の違和感を自覚する方で、症状出現日から2週間以内及び症状消失から3日以内の方
- ・新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者に該当し、最終接触日から2週間以内の方

（※3）信頼区間はBinomial exact CIで構成

（※4）結果の解釈に当たっては、以下の点に留意する必要がある。

- ・今回の測定結果は、陽性判定された検体数を全検体数で割った値であり、**重複集計**にて求めたものである点
- ・献血の対象年齢が16～69歳であり、70歳以上の高齢者は含まれず、小児、高齢者の属性率の分布はこのデータからは分からぬ点
- ・迅速に各都道府県の抗体保有割合を把握を行う目的で実施しており、献血を行った者の中から系統的無作為に抽出を行ったため、速報では、性別や年齢分布等の結果に影響を与える因子を補正しておらず、本来の人口単位の**抗体保有割合とは異なる可能性**がある点

第3回献血時の検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有割合実態調査
(結果速報、都道府県別)

＜厚生労働省資料＞

青森県の新型コロナウイルスの抗体保有割合は、全国と比較し高くない状況にある。

都道府県名	抗体保有割合 (95%CI)	都道府県名	抗体保有割合 (95%CI)	都道府県名	抗体保有割合 (95%CI)
北海道	42.2% (37.2 - 47.3%)	石川県	34.1% (29.4 - 39.1%)	岡山県	42.2% (37.2 - 47.3%)
青森県	34.9% (30.1 - 39.9%)	福井県	45.6% (40.5 - 50.7%)	広島県	46.4% (41.3 - 51.5%)
岩手県	35.7% (30.9 - 40.7%)	山梨県	41.1% (36.2 - 46.3%)	山口県	37.8% (32.9 - 42.8%)
宮城県	39.1% (34.2 - 44.1%)	長野県	38.3% (33.4 - 43.3%)	徳島県	41.1% (36.2 - 46.3%)
秋田県	38.0% (33.1 - 43.1%)	岐阜県	39.1% (34.2 - 44.1%)	香川県	44.3% (39.2 - 49.4%)
山形県	37.2% (32.4 - 42.3%)	静岡県	41.4% (36.4 - 46.5%)	愛媛県	40.1% (35.2 - 45.2%)
福島県	38.8% (33.9 - 43.9%)	愛知県	44.5% (39.5 - 49.7%)	高知県	41.7% (36.7 - 46.8%)
茨城県	39.6% (34.7 - 44.7%)	三重県	44.3% (39.2 - 49.4%)	福岡県	50.0% (44.9 - 55.1%)
栃木県	38.5% (33.6 - 43.6%)	滋賀県	40.9% (35.9 - 46.0%)	佐賀県	49.0% (43.9 - 54.1%)
群馬県	38.3% (33.4 - 43.3%)	京都府	50.5% (45.4 - 55.6%)	長崎県	46.9% (41.8 - 52.0%)
埼玉県	42.2% (37.2 - 47.3%)	大阪府	49.5% (44.4 - 54.6%)	熊本県	49.7% (44.6 - 54.9%)
千葉県	47.4% (42.3 - 52.5%)	兵庫県	46.9% (41.8 - 52.0%)	大分県	41.9% (36.9 - 47.0%)
東京都	52.9% (47.7 - 57.9%)	奈良県	48.7% (43.6 - 53.8%)	宮崎県	52.9% (47.7 - 57.9%)
神奈川県	40.6% (35.7 - 45.7%)	和歌山県	36.7% (31.9 - 41.8%)	鹿児島県	45.1% (40.0 - 50.2%)
新潟県	37.2% (32.4 - 42.3%)	鳥取県	35.7% (30.9 - 40.7%)	沖縄県	63.0% (58.0 - 67.9%)
富山県	41.4% (36.4 - 46.5%)	島根県	36.7% (31.9 - 41.8%)		

(注)

1) 全血献血又は成分献血の基準を満たし、以下のいずれにも該当しない者を対象とする。

- ・新型コロナウイルス感染症と診断された又は新型コロナウイルス検査で陽性になったことがあり、症状消失後（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）4週間以内の方
- ・発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症が疑われる症状や、味覚・嗅覚の違和感を自覚する方で、症状出現日から2週間以内及び症状消失から3日以内の方
- ・新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者に該当し、最終接触日から2週間以内の方

2) 結果の解釈に当たっては、以下の点に留意する必要がある。

- ・今回の都道府県別の測定結果は、各都道府県について、陽性判定された検体数を当該都道府県の全検体数で割った値であり、単純集計にて求めたものである点
- ・献血の対象年齢が16～69歳であり、70歳以上の高齢者は含まれず、小児、高齢者の陽性率の分布はこのデータからは分からぬ点
- ・迅速に各都道府県の抗体保有割合を把握を行う目的で実施しており、献血を行った者の中から系統的無作為に抽出を行ったため、速報では、性別や年齢分布等の結果に影響を与える因子を補正しておらず、本来の人口単位の抗体保有割合とは異なる可能性がある点

3) 信頼区間はBinomial exact CIで構成

13 青森県の医療提供体制の見直しの概要

＜R5年4月26日開催の危機対策本部会議の資料について、現時点の実績等を追記し更新＞

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症となったことに伴い、**行政の関与を前提とした特別な対応**から**幅広い医療機関による自律的な通常の対応**に移行していく。

外 来

- 診療・検査医療機関は「外来対応医療機関」に名称変更するとともに、新たにコロナ診療に対応する医療機関を増やしながら、広く一般的な医療機関での対応を目指す。 (※)

5月7日時点292か所⇒7月4日現在352か所

- 「外来対応医療機関」はかかりつけ患者に限定せず診療。 (※)

外来対応医療機関352か所中、
278か所でかかりつけ患者以外にも対応

- 「外来対応医療機関」は、当面の間、県ホームページ及び県コールセンターで案内中
〔青森県新型コロナウイルス感染症総合電話相談〕
電話：0570-065-965 24時間受付

- 検査キット必要時は自己負担で購入し、受診必要時は「外来対応医療機関」等を自ら受診。 (※)

(※) 行政の関与を前提とした特別な対応から、季節性インフルエンザと同等の対応としていく。

入 院

- 幅広い医療機関による対応に向けた方針等を定めた「移行計画」に基づき全病院で対応することを目指す。

(※)

確保病床数

5月8日時点 390床 (うち重症者用15床)
⇒ 7月1日時点 229床 (同上)

- 陽性患者の入院体制を確保している医療機関に対する病床確保料の補助は当面継続。

- 入院調整は、診療した医療機関が入院の要否を判断し、医療機関間で実施中。 (※)

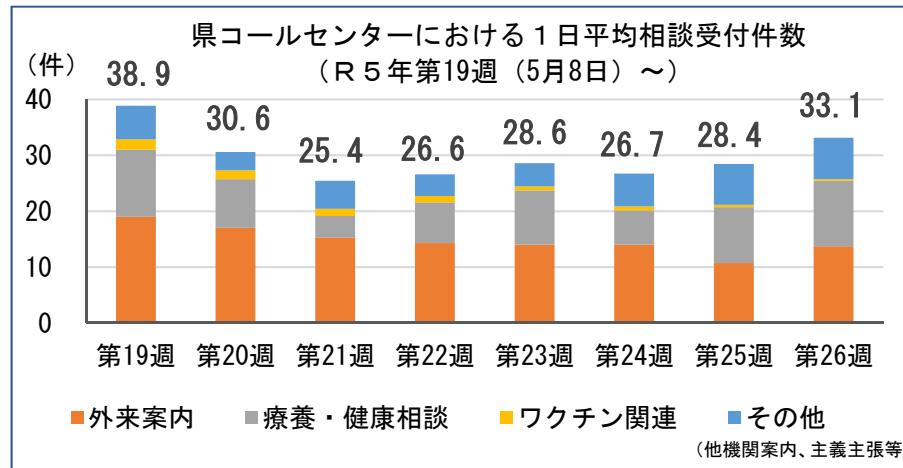
(圏域ごとの内訳)

	外来対応 医療機関	左のうち かかりつけ患者 以外にも対応
青森地域	97	78
八戸地域	87	61
津軽地域	89	75
西北五地域	29	23
上十三地域	33	29
下北地域	17	13
県計	352	279

※ 内科、小児科及び耳鼻咽喉科のいずれかを標榜する医療機関 (586か所) の約60%。

療養

- 一般的な電話相談や外来受診等の案内は県コールセンター（青森県新型コロナウイルス感染症総合電話相談）で対応中。
- 自宅で療養中に体調が悪化した方からの問い合わせには、県コールセンター（青森県新型コロナウイルス感染症総合電話相談）で受診可能な医療機関を案内中。



陽性患者等に対する公費支援の取扱い

- 外来医療費は自己負担。 (※)
ただし、新型コロナ感染症治療薬の費用は公費支援あり。
- 入院医療費は自己負担。 (※)
ただし、高額療養費制度の自己負担限度額から原則2万円を減額。
併せて、新型コロナ感染症治療薬の費用は公費支援あり。

その他

- 高齢者等施設内で陽性者が発生した場合は、当該陽性者の症状を踏まえ、原則、施設内で療養を実施。 (※)
- 感染者数の公表は、定点医療機関からの報告結果を取りまとめ、原則として毎週1回（木曜日）に公表。

- ・県環境保健センターホームページ（週報）：
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/kankyo센타/infection-survey.html#part13>
- ・県保健衛生課ホームページ（報告患者数の詳細、入院患者数の状況）
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/covid19.html>

- 感染拡大時には、以下の対策を検討・実施。

- ・高齢者施設等の従事者に対する集中的な検査

今後の感染拡大に備え、県全域で対応できるよう準備中

- ・医療機関間による入院調整への保健所等によるサポート 等

(※) 行政の関与を前提とした特別な対応から、季節性インフルエンザと同等の対応としていく。

14 外来・入院医療提供体制強化に向けた県の取組状況

(1) 研修会の開催 (R 5.3)

各医療機関を対象として、標準的な感染予防策や今後の外来及び入院対応時における具体的な対応方法等を説明。

(2) 医療機関等への働き掛け (R 5.4)

- ①各医療機関に対し「外来対応医療機関」となることを文書で依頼。
- ②青森県医師会に対し「外来対応医療機関」の増加に向けた協力を文書で依頼。

(3) 動画の公開 (R 5.4~)

県独自に診療時の感染予防策等を解説した動画を作成し、県ホームページで公開。

(4) 感染予防策の技術的助言 (R 5.6~)

医療機関からの求めに応じて、感染拡大時に加えて、平時からの感染予防策等について実地で技術的助言等を行う「青森県感染対策コンサルテーションチーム」を設置。

青森県感染対策コンサルテーションチーム

【設置の趣旨】

- 医療機関等で感染症患者が多数発生した場合の感染拡大防止
- 新たに新型コロナ患者（疑い含む）の受入に対応しようとする医療機関に対する感染管理の技術的助言

【チームの役割】

- 平時における感染防止対策
- 感染症患者が多数発生した時の感染防止対策
- 職員等の体制整備
- 県が実施する感染管理研修等への支援 等

【チームの構成員】

- 県内医療機関の感染管理認定看護師等（現在18名）
- 県及び中核市保健所の職員（所長及び保健師等）
⇒ 相談申込があった医療機関が所在する地域のチーム構成員3名程度で対応



15 青森県の感染状況等のまとめ

県内の感染状況や医療提供体制の状況等

- 新規患者数は、4月上旬以降緩やかに増加しており、5類移行後も同様に増加している。
- 新規入院患者数は、院内感染の発生により増加している週も見られるが、確保病床及び確保病床以外でも、入院が必要な患者は速やかに入院できており、適切に医療を提供できる体制を維持している。
- 救急搬送により入院するケースは一定数あるが、医療提供上の問題は生じていない。

今後の見通し

- 以下の①～③を踏まえれば、青森県においても、今後、新規患者が増加する可能性がある。
 - ① 全国では新規患者が急増している県がある。
 - ② 青森県の新型コロナウイルスの抗体保有割合は、全国と比較して高くない状況にある。
 - ③ これまでの経験上、全国的に夏場（7月中旬～8月中旬）にかけて新規患者が増加している。

青森県の取組

- 感染拡大が生じても必要な医療を提供できるよう、青森県感染対策コンサルテーションチームによる感染管理に係る技術的助言等の取組を進め、引き続き、幅広い医療機関で新型コロナ患者に対応する医療提供体制を整備していく。
- 特に、高齢者や基礎疾患有する方など重症化リスクの高い方へのワクチン接種を積極的に推奨する。
- 手洗いや換気、効果的な場面でのマスクの着用など、基本的な感染防止対策を呼びかけていく。